記載様式第１号

森林現況取りまとめ表

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区 分 | 現 況 | Ａのうち形質変更予定面積 | 備 考 |
| 面 積 （A) | 比率 | 面 積 （B) | Ｂ／Ａ |
| ５条森林注1 | 人 工 林 | ha | ％ | ha | ％ |  |
| 天 然 林 |  |  |  |  |  |
| そ の 他 | 注2 |  |  |  |  |
| 計 | 注3(C) |  | 注4 |  |  |
| ５条森林以外 | 注5 |  |  |  |  |
| 合 計 |  |  |  |  |  |
| 森 林 率 | 注6有効残置森林面積＋造成森林面積 ha＋ ha  ＝ ×100 ＝ ％５条森林面積(C) ha |

（注）

１ 注１欄は、地域森林計画対象民有林（以下「５条森林」という｡)の面積を記入する。

２ 注２欄は、原野、竹林、土石採取跡地（経過残壁を含む）等を記入する。

３ 注３欄は、事業区域内の５条森林の面積とする。

４ 注４欄は、申請書の「開発行為に係る森林の土地の面積」と一致する。

５ 注５欄は、５条森林以外（田、畑、宅地、道路、河川敷等）及び保安林の面積を記入する。

 なお、保安林は地域森林計画対象民有林であるが、本様式ではこの欄に記入する｡

６ 注６欄の有効残置森林面積とは、残置森林のうち15年生以下の森林、無立木地、崩壊地、伐採跡地等を除いた面積をいう。

 ７ 備考欄には、樹種、林齢又は土地利用現況（原野、田、畑等）を記入する。

 ８ 工区を設定する場合は、工区ごとの森林現況取りまとめ表も作成する。

 ９ 残置する森林に15年生以下の森林、無立木地、崩壊地、伐採跡地等が含まれる場合は、別紙若齢林等調査表を添付する。

記載様式第１号附表

若齢林等調査表

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 森林の所在地 | 地目 | 面積（㎡） | 開発面積 | 残置森林 | 残 置 森 林 の 内 訳 | 備 考 |
| 台 帳 | 実 測(見込み) | 有効残置森林 | 若 齢 林 等 の 内 訳 | 若齢林等①～⑤計 |
| 立 木 地15年生超 | 立 木 地15年生以下① | 無立木地② | 伐採跡地③ | 岩 石 地④ | そ の 他⑤ |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（注）

残置する森林に15年生以下の森林、無立木地、崩壊地、伐採跡地等が含まれる場合において、開発行為をしようとする区域全体の森林について調査し、本表に取りまとめる。

記載様式第２号

開発区域内の土地の明細表

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 所 在 場 所 | 登記事項証明書地目 | 森林の区 分 | 面 積 | 土地所有者の住所氏名 | 同意等の有無 | そ の 他 の 権 利 者 | 同意等の有無 | 備 考 |
| 登記事項証明書 | 実測又は見込 | 種 類 | 住 所 氏 名 |
|  |  |  |  | ha |  | ha |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 合 計 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（注）

１ 所在場所の配列は、原則として地番順とすること。

 ２ 森林の区分欄には、地域森林計画対象民有林を一部でも含む場合は○印を記入し、そのうち形質変更するものは◎とする。

 ３ １筆の一部を事業区域とする場合は、１筆の全体面積を上段に（ ）書とし、下段に事業区域面積を記載すること。

 ４ １筆毎に実測していない場合の実測面積は、合計欄のみの記載とすることができる。

記載様式第３号

緑 化 計 画 書

１ 概要

 （自然環境保全に対する基本的な考え方及び緑化計画の要点を簡潔に記入する｡)

２ 表土の利用

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 表 土 量 | 客土等緑化工への利用数量 | 残 量 | 備 考 |
| ｍ3 | ｍ3 | ｍ3 | 残量の処分方法などを記入する｡ |

３ 残置森林及び造成森林等の管理方法

 (1) 管理体制

 （管理責任者名等を記入する｡)

 (2) 管理方法

 （直営、委託、請負の別及び下刈、間伐、病害虫防除、樹木の手入れ、芝刈等の保育の内容を具体的に記す｡)

４ 緑化場所別一覧表

 緑化場所については、建物周辺、幹線道路の緑地帯、法面及び駐車場等具体的に記入し、緑化計画図の番号と一致させる｡

 (1) 残置森林

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 緑 化 場 所 |  |  |  |  | 計 |
| 面 積 | ㎡ | ㎡ | ㎡ | ㎡ | ㎡ |
| 補植内容 | 区 分 | 本数 | 樹種 | 本数 | 樹種 | 本数 | 樹種 | 本数 | 樹種 |  |
| 高木 | 植栽時の樹高3.0ｍ以上 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 植栽時の樹高2.0ｍ～3.0ｍ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 植栽時の樹高1.0ｍ～2.0ｍ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 植栽時の樹高1.0ｍ未満 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 低木 | 植栽時の樹高1.0ｍ以上 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 植栽時の樹高1.0ｍ未満 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 合 計 | 本 | 本 | 本 | 本 | 本 |
| 備 考 |  |  |  |  |  |

（注）

１ 高木とは、成木に達したときの樹高が４ｍ以上の樹木をいう｡

 ２ 補植しない場合、補植内容欄の記入は必要ない｡

 ３ 15年生以下の森林は、造成森林として扱う｡

 ４ 残置森林内の無立木地、崩壊地、伐採跡地等は、造成森林に含めない｡

 ５ 森林率にカウントしない残置森林は、備考欄に「森林率に計上しない」旨を記入する。

 (2) 造成森林

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 緑 化 場 所 |  |  |  |  | 計 |
| 面 積 | ㎡ | ㎡ | ㎡ | ㎡ | ㎡ |
| 植栽内容 | 区 分 | 本数 | 樹種 | 本数 | 樹種 | 本数 | 樹種 | 本数 | 樹種 |  |
| 高木 | 植栽時の樹高3.0ｍ以上 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 植栽時の樹高2.0ｍ～3.0ｍ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 植栽時の樹高1.0ｍ～2.0ｍ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 植栽時の樹高1.0ｍ未満 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 計 |  | 本 |  | 本 |  | 本 |  | 本 | 本 |
| 密 度 |  | /100㎡ |  | /100㎡ |  | /100㎡ |  | /100㎡ |  |
| 低木 | 植栽時の樹高1.0ｍ以上 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|
| 植栽時の樹高1.0ｍ未満 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 計 |  | 本 |  | 本 |  | 本 |  | 本 | 本 |
| 張芝、種子吹付等 | ㎡ | ㎡ | ㎡ | ㎡ | ㎡ |
| 備 考 |  |  |  |  |  |

注）土石の採掘の場合の緑化場所は、平場、小段及び境界から30ｍの区域に分けて記入する。

 (3) 造成緑地

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 緑 化 場 所 |  |  |  |  | 計 |
| 面 積 | ㎡ | ㎡ | ㎡ | ㎡ | ㎡ |
| 植栽内容 | 区 分 | 本数 | 樹種 | 本数 | 樹種 | 本数 | 樹種 | 本数 | 樹種 |  |
| 低木 | 植栽時の樹高1.0ｍ以上 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 植栽時の樹高1.0ｍ未満 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 合 計 | 本 | 本 | 本 | 本 | 本 |
| 張芝、種子吹付等 | ㎡ | ㎡ | ㎡ | ㎡ | ㎡ |
| 備 考 |  |  |  |  |  |

記載様式第４号

残置する森林等の管理に関する誓約書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　 月 　日

浜松市長　　　様

　　　　　　　　　　　 　 申請者　住所

　　　　　　　　　　　 　 　　氏名

次の残置する森林等について、下記のとおり維持管理することを誓約します。

なお、開発完了後に残置森林の維持管理協定に関する実施要領に基づき協定を締結します。また、協定締結後は協定内容に従うこととします。

残置する森林等の区域及び面積

林地開発許可申請書に添付した緑化計画書及び緑化計画平面図のとおり

記

（残置する森林等の保存）

１ 残置する森林等は、開発行為が完了した後においても他の目的には転用しません。

（地域森林計画の遵守）

２ 残置する森林等が森林法第５条の規定による地域森林計画の対象となる場合は、その計画に即した施業を行います。

（補植等の実施）

３ 残置する森林等のうち、補植又は改植を必要とする箇所には、現地に適合した樹種を適期に植裁します。

（保育管理の実施）

４ 残置する森林等のうち、下刈、つる切り、除伐、間伐、施肥及び病害虫防除等を必要とする箇所及び造成緑地については、適切な保育管理を行います。

（立木の伐採）

５　残置する森林等が地域森林計画の対象であり、当該森林等の立木を伐採する場合は、森林法第10条の８の規定により伐採届を提出します。

（誓約事項の承継）

６　残置する森林等の所有権その他森林等を利用する権利を他に譲渡したときは、この誓約事項を当該権利者に承継します。

（注）

１　この様式は、開発行為の目的が「土石の採掘、建設発生土処分場、廃棄物最終処分場」以外の場合に使用する｡

２ 土地の所有権が申請者以外の者にある場合は、原則として土地所有者との連名の誓約書とする。なお、この場合、申請者、土地所有者ともに押印する。

記載様式第５号

残置する森林及び林地開発行為の跡地の管理に関する誓約書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年 　月　 日

浜松市長　　　様

　　　　　　　　　　　　　 　 申請者　住所

　　　　　　　　　　　　　 　 　　氏名

　林地開発行為（土石の採掘・建設発生土処分場・廃棄物最終処分場）の跡地について、下記のとおり利用、保育管理することを誓約します。

　なお、開発完了後に残置森林の維持管理協定に関する実施要領に基づき協定を締結します。また、協定締結後は協定内容に従うこととします。

　残置する森林等の区域及び面積

　林地開発許可申請書に添付した緑化計画書及び緑化計画平面図のとおり

記

　（開発跡地の利用）

１　例　開発跡地については、土壌の埋め戻しを十分行うと共に、ヘクタール当り約3,000本の密度でスギ、ヒノキ等の苗木を植栽し、森林に復元します。

例　開発跡地については、原則として、森林に復元します。ただし、平場の一部については、開発前から地目が農地であるため、農地として利用します。（内容は林地開発許可申請書に添付した跡地利用計画図のとおり）

　（調整池の維持管理）

２　調整池の定期的な巡視を行い、異常が認められたときは、速やかに所要の処置を行います。また、堤体、貯水池周りの草刈は毎年行います。

　（法面の保護）

３　法面からの土砂流出、崩壊を防止するための維持管理を行います。

法面の植生が活着しないときは、種子吹付等を繰返し、植生の活着を図ります。法面の浸食が認められるときは、法枠工等を行い浸食の防止を図ります。

　（地域森林計画の遵守）

４　残置又は造成する森林等は、開発行為が完了した後においても他の目的には転用しません。また、森林法第５条の規定による地域森林計画の対象となる場合は、その計画に即した施業を行います。

　（補植等の実施）

５　残置又は造成する森林等のうち、補植又は改植を必要とする箇所には、現地に適合した樹種を適期に植裁します。

　（保育管理の実施）

６　残置する森林等のうち、下刈、つる切り、除伐、間伐、施肥及び病害虫防除等を必要とする箇所については、適切な保育管理を行います。

　（管理者）

７　開発行為完了後５年間は、申請者が維持管理を行います。その後、土地所有者が法面等を含む開発跡地の森林の維持管理を行います。

　（誓約事項の承継）

８　残置する森林等の所有権その他森林等を利用する権利を他に譲渡したときは、この誓約事項を当該権利者に承継します。

（注）

１　この様式は、開発行為の目的が土石の採掘、建設発生土処分場又は廃棄物最終処分場の場合に使用する｡

２ 様式中、（土石の採掘・建設発生土処分場・廃棄物最終処分場）は、該当する字句のみ記載する｡

３ 土地の所有権が申請者以外の者にある場合は、原則として土地所有者との連名の誓約書とする。なお、この場合、申請者、土地所有者ともに押印する。

記載様式第６号

開発に関する協定書

　森林法に基づく開発行為の施行地並びにその周辺区域の環境を保全するための措置について、次のとおり協定する。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　 月 　日

　　　　　　　　　　　　　　　（甲）申 請 者　住所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　 氏名

　　　　　　　　　　　　　　　（乙）市町長　住所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名

|  |  |
| --- | --- |
| 開発区域の所在場所 |  |
| 開発行為の目的・名称 |  |
| 協定事項 | 協　　　　定　　　　の　　　　内　　　　容 |
|  |  |

（注）

　開発行為が地域住民の福祉や生活環境の保全に支障をきたさないよう、開発行為の施行中及び完了後における開発区域内外の環境の整備、保全管理について必要な次の事項を協定する。

１　地域住民の安全確保を図るための必要な事項

２　災害発生時における対応措置についての必要な事項

３　用水の確保、排水施設の整備及び管理についての必要な事項

４　廃棄物の処理についての必要な事項

５　消防設備の確保についての必要な事項

６　公益施設の保全管理についての必要な事項

７　残置森林、造成森林及び造成緑地の保全と維持管理についての必要な事項

８　環境保全管理の責任体制の確立についての必要な事項

９　当該協定の期間、更新及び変更に関する事項

10 その他、当該市町長が必要と認める事項

記載様式第７号

水利権者との協定書・同意書

開発行為の内容

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開発行為者の住所、氏名 | 住　所 |  |
| 氏　名 |  |
| 開発行為の区域に含まれる土地の所在 |  |
| 開発行為の目的 |  |

　森林法第10条の２第１項に係る林地開発許可申請に当たり、雨水等の表流水を、貴水利組合（貴改良区）管轄の既設水路に放流することについて、御同意をお願いします。

　上記事項について、同意します。

　　　　年　　月　　日

　　　　　　　　　 　　　水利組合　　　住　所

 （改 良 区）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　組合長

